

その他の庁内セキュリティ対策について

1 USBメモリのセキュリティ対策の結果について

【参考資料 3】

本市では、個人情報等が記録された USB メモリを紛失するという事案が続けて発生したことから、昨年度、USB メモリをデータの持ち出しや受け渡しに用途制限するとともに自動暗号化機能付きのものに限定する取り組みを実施しました。

この結果、対策前には 3982 本あった USB メモリが、対策後は 1199 本に削減することができました。

2 情報システム監査の実施方法について

【参考資料 4】

本市では、セキュリティ監査の対象となるシステムの選定を年度毎に行っているが、監査の対象とするシステムの選定方法が年度毎に異なり、選定にかかる作業負担も少なくありません。そこで今後は、セキュリティ監査を効率良く実施していきたいと考えており、具体的にはローテーションによる監査の実施を検討しています。現在、その準備として、監査対象のシステムを選定してローテーションに組み込む方法を整理しているところです。